

5 Gオープンイノベーションプログラム

2022年10月3日 株式会社椿本チエイン PCSビジネス部

本資料記載のロゴ、商品名は株式会社椿本チェイン、国内外グループ会社における商標または登録商標です

椿本チエインについて-1

企業概要

本店所在地	大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング
創業	1917年12月
資本金	170億7,600万円
代表者	代表取締役社長 木村 隆利
主要事業	チェーン・減速機などの機械用部品、自動車部品、 自動搬送・仕分けシステムの製造販売
連結業績	売上高 2,158億7,900万円 (2021年度実績)
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 (6371)

(2022年9月1日現在)

【主要4事業】





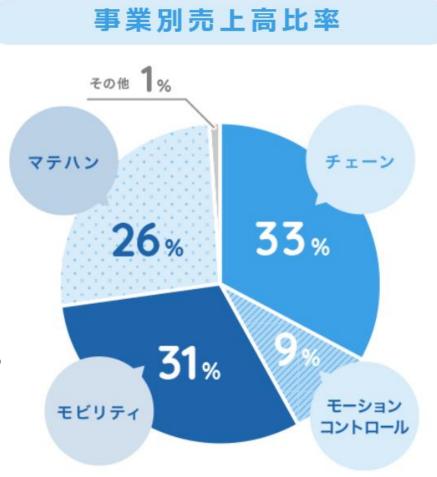


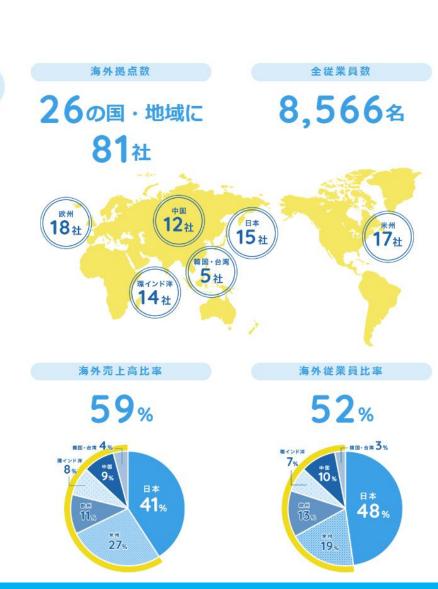


数字で見る椿本チエイン









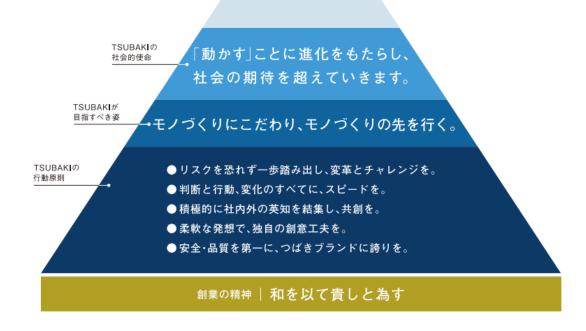
企業理念

「動かす」ことに進化をもたらし、社会の期待を超えていきます。

つばきグループは、モノを動かすプロフェッショナルであるとの自負の下、技術とアイデアで、 「動かすことの進化」に挑戦し続けてきた企業です。

既成概念にとらわれず、先の時代を見据えて「変革とチャレンジ」をし続ける。そして 社会の期待に応え、期待を超えるような付加価値を生み出していきたい。企業理念である 「TSUBAKI SPIRIT」は、私たちつばきの決意を表現したものです。

TSUBAKI **SPIRIT**

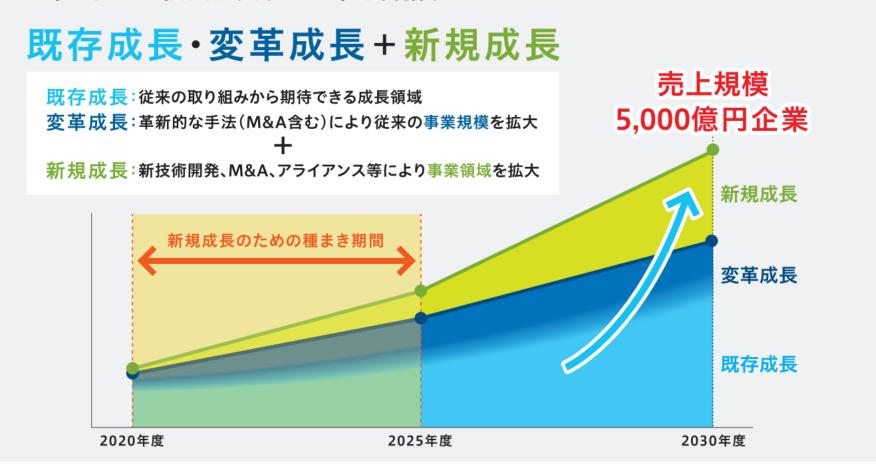


社会を支えるつばきの商品



中長期ビジョン

地球と社会に貢献できる企業となるため、 2030年に向けて拡大成長する企業を目指す



新規ビジネスの創出

- ・EV向けビジネス参入の機会
- ・再生エネルギーの関心度の高まり
- ・太陽光、蓄電池などとのシステム連携の拡張性
- ・AGV、リニアモータなどの制御技術、パワーエレクトロニクス技術を活かした事業





持続成長が可能な次世代ビジネス(カーボンニュートラル市場)へ進出

eLINKの概要





- ・椿本チエイン製造 『V2X対応充放電装置』
- ・E Vと系統間を双方向に電力を変換するインターフェース
- ・通常時はEV充電器として利用!
- ・太陽光、蓄電池との連携による電力消費抑制が可能!
- ・E V バッテリーを蓄電池替わりに非常用電源とした活用が可能!

※ V 2 X (Vehicle to everything) とは車とインフラやネットワークの接続や相互連携を総称する技術

eLINK (V2X対応充放電装置) について-2

eLINKの主な仕様





充電時の出力: 電池電圧 DC150~450V 5kW(交流)

給電時の出力: 単相3線 AC 202V 50/60Hz 5kW (交流)

外形寸法 : (W) 400mm × (H) 1500mm × (D) 300mm

質量 : 114Kg

通信規格: ECHONETLite、 ModbusTCP

認証規格: CHAdeMO認証取得

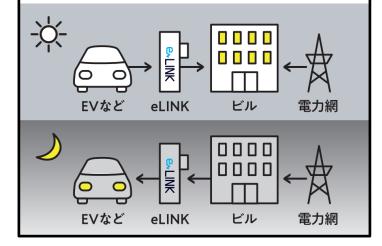
※ECONETLiteはエコーネットコンソーシアム、ModbusTCPはModicon社、CHAdeMOはチャデモ協議会の商標登録です。

eLINKの主な用途



電力デマンドのピークシフト

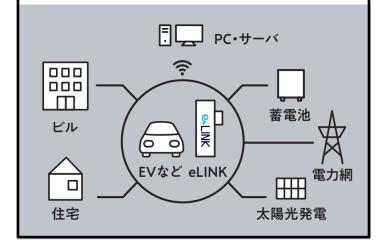
- ・昼間はEV給電による商用電力のピークカット
- ・料金の安い夜間にEV充電へシフト
- ・充電と給電の作動時間の設定も可能





スマートな充放電の制御

- エネルギーマネジメントシステムと連動
- ・通信機能とシステムを組み合せた制御可能
- ・VPPのリソースとして活用も可能

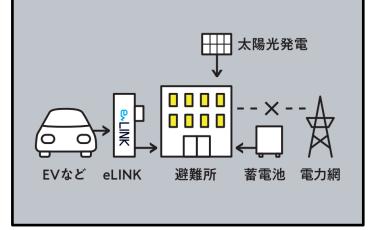


募集テーマの切り口



停電時の非常用電源

- ・停電時、EVバッテリーを非常用電源に活用
- ・太陽光、蓄電池と組み合わせて対策を強化
- ·新たなBCP対策のソリューションに期待!

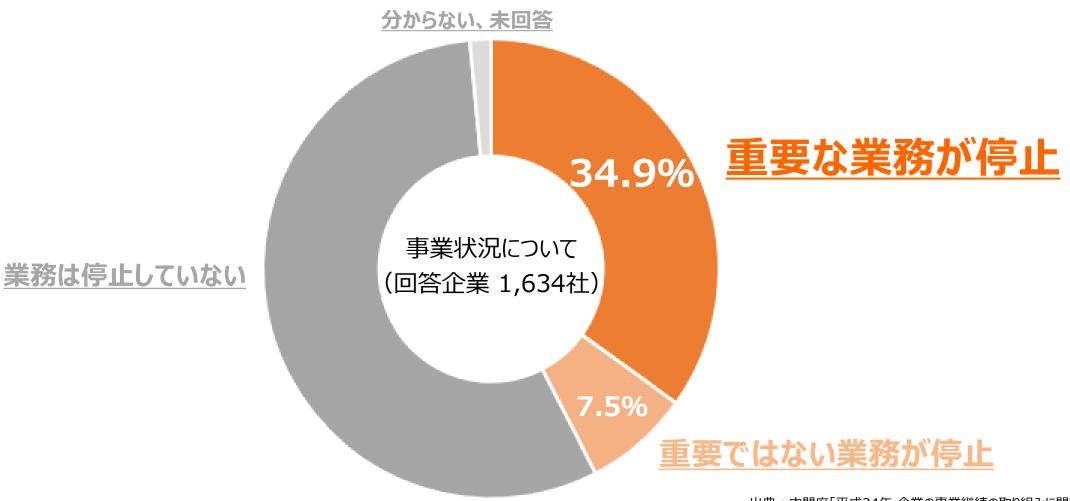


※電力デマンドのピークシフトや充放電制御の切り口でご提案をいただくことも可能です

9

事業中断のリスク

【東日本大震災による事業中断】

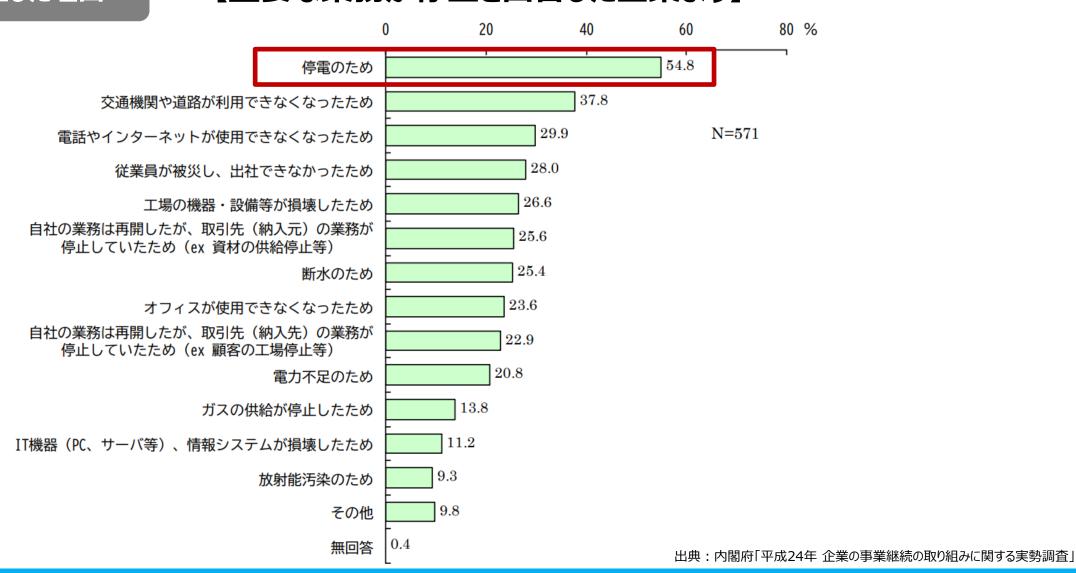


TSUBAK

出典:内閣府「平成24年企業の事業継続の取り組みに関する実勢調査」

業務が停止した理由

【重要な業務が停止と回答した企業より】

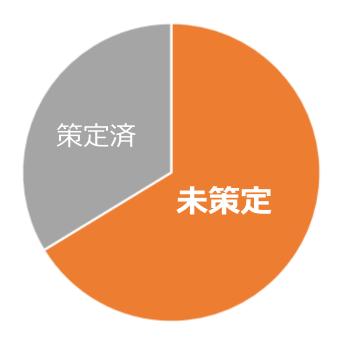


企業のBCP策定状況

【BCP策定割合】

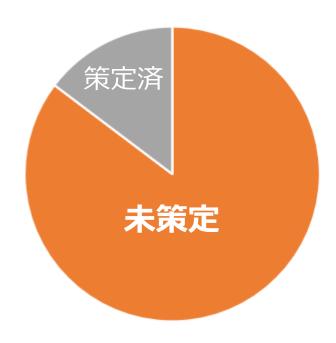
大企業 (未策定)

66.3%



中小企業 (未策定)

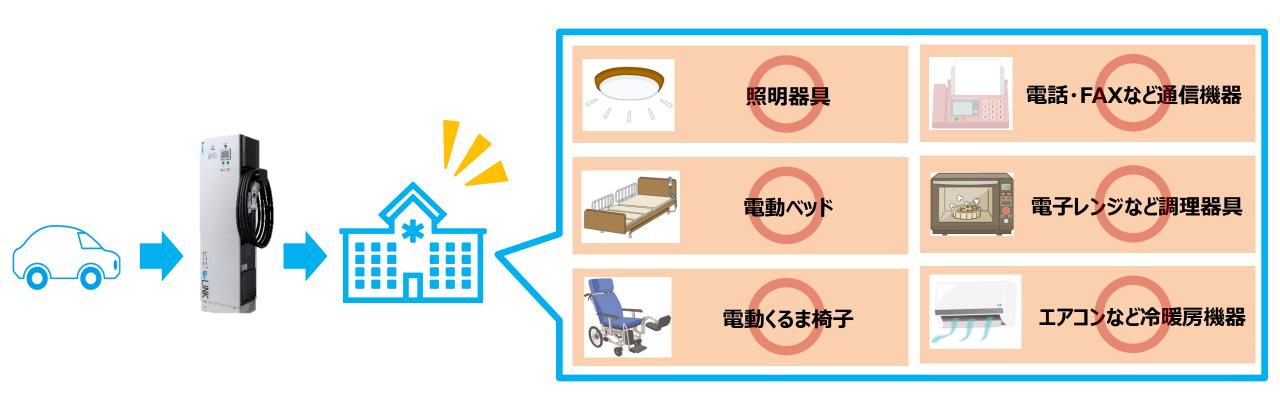
85.3%



出典:帝国データバンク「2022年事業継続計画(BCP)に対する企業の意識調査」

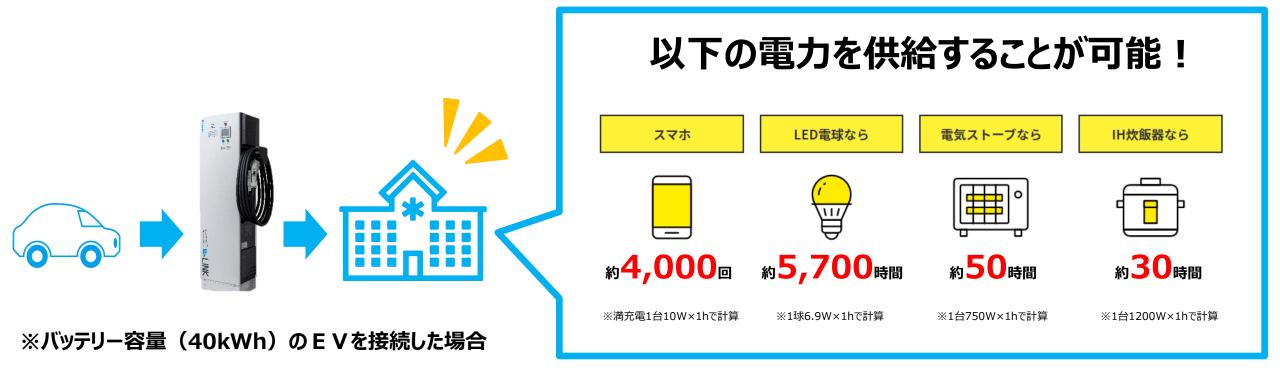
V2X活用イメージ

【例:介護施設へ給電の場合】



電力供給イメージ

【例:供給可能な電力】



出展:トヨタ自動車WEBサイト「トヨタの給電」

ご提案の募集内容



BCP対策の新たな電力ソリューション創出へ

昨今、再生エネルギーや環境問題が挙げられるなか E Vのバッテリーを利用した電力コントロールが注目されています。

そこで当社では E VとV 2 Xを活用した B C P 対策をテーマにしたご提案を募集いたします。

既に導入実績はあるものの、当社がリーチできていない業界や分野を掘り下げていただくことを期待いたします。例えばBCP対策が義務化される介護事業との連携などが考えられます。

当プログラムではBCP対策となる新たな電力ソリューションを一緒に創りあげていきたいと考えています。

製品の参考サイト

●製品紹介動画サイト(約3分30秒) ⇒ https://youtu.be/dlf36F2xdFg

●製品サイト ⇒ https://www.tsubakimoto.jp/other-products/elink/